



12月20日(水)・21日(木)の2日間にわたり、15人の議員が一般質問を行い、市政に関する問題について、市当局の見解を求めました。

※氏名の下のカッコ内は所属党派名（無会派は会派に属さない議員）



河原井 始  
(クラブ 21)

### 座間事件について

**質問** 今回の事件をどのように捉えているか。

**答弁** 未来に無限の可能性を持った若者の尊い命が失われた悲惨な事件であり、残念でたまらない。

今後このような犯罪に巻き込まれないために、まず、SNSの危険性について再度指導する必要がある。また、親身に相談できる人がいれば防ぐことができたのではないかと考えられるため、学校の教育相談体制や相談機関を再確認するとともに、若者への周知方法を再検討したい。



SNS使用の様子

**質問** 自画撮り被害防止のため、東京都や兵庫県では規制する条例が平成30年から施行される。このような現状を踏まえ、SNS等の利用を、どのように把握しているか。

**答弁** 市中学校教頭会による保護者を対象に行った抽出調査によると、中学生の8割近くがSNSを使用している。

**質問** ネットの自殺サイトを閉鎖するところがなく、なってしまう、という意見もある。そこで、SNSに自殺に関連した発信がされた場合、自治体の相談室の案内表示をするシステムを導入する自治体もあるが、当市でも実施する考えは。

**答弁** 現時点で情報を得ていないので、今後研究したい。



園 田 基 博  
(創志会)

### 介護職員人材確保

**質問** 恒常的に人手不足が続いている介護職員の人材確保における当市の取り組みは。

**答弁** 県の実施する人材確保対策について市の窓口にはチラシを置き事業所への周知などを積極的に図っている。また、平成29年10月から基準を緩和した訪問型サービスAを実施することに伴い、従事者を養成するための介護保険制度の基礎知識や高齢者の理解など



授業の様子

を内容とした従事者研修を行うなどしたが、今後も継続して行い、サービス従事者の裾野を広げていきたい。

### 新学習指導要領

**質問** 平成32年度より新学習指導要領で教科化される英語教育の取り組みは。

**答弁** 平成27年度から桜木小学校と神明小学校を教育課程特別校に指定し、効果的に学習内容を身につけるため1単位時間の授業の進め方や、学習評価の方法、英語科によるモジュール学習の研究を行っており、

また平成29年度は桜木小学校に英語教育アドバイザーを配置し、市内全小学校を巡回し、師範授業や担任が円滑に授業を行えるような教材作りの補助等を行っている。さらに小学校から中学校への円滑な接続を目的に小中学校で互いに授業を参観し合う機会を設けるなど小中連携も進めている。



山之内 肇 (公明クラブ)

### 山林への太陽光発電施設の設置

#### 質問

宅地造成工事規制区域に指定されている山林への太陽光発電施設の設置に係る申請手続きにおいて、事業計画地に隣接する土地所有者や周辺地域住民の意志はどのように反映されるのか。また、事業計画画地周辺住民の同意がない場合の市の対応は。

#### 答弁

市としては、施行規則に基づき、事業者には地元説明会を実施していただき、隣接する土地所有者や地域住民の同意を得た上でその記録などを提出するよう指導しており、実施した説明会の関係書類や自治会の同意書の添付を求めている。なお、自治会の同意においては、自治会印の捺印が必要である。また、事業計画画地周辺住民の同意がない場合、申請は受理していない。



山紫水明な桐生市

### 桐生市独自の条例制定

#### 質問

太陽光発電施設整備について、山林の多い当市の特性を踏まえた上で住民の生活環境に関する不安の解消、安全安心に資するような独自の条例を早急に制定すべきでは。

#### 答弁

自然環境や景観を守るとともに、事業地周辺の住民の意向を踏まえて事業への不安を解消していくことは重要であると認識しており、条例の制定についても引き続き検討していきたい。



田島 忠一 (そうぞう未来)

### ふるさと納税について

#### 質問

平成28年度に桐生市に寄附をいただいた件数と金額、桐生市民が他の都市へ寄附をした件数と金額、またその差額と解消方法について伺いたい。

#### 答弁

平成28年度におけるふるさと桐生応援寄附金をいただいた件数は69件、金額は414万1000円であり、市民が他の都市へ寄附をした件数については、統計上把握はできないが、平成28年度課税において寄附金控除の適用を受けた方が509人おり、市民税の控除額は1817万3000円であった。したがっ



て、寄附金額と市民税控除額を差し引きすると1403万20000円のマイナスとなる。

解消方法については、総務省では、趣旨に反するような高価な返礼品は送付しないよう求めているが、差額を解消しようとする自治体が増え、返礼品競争の過熱化等の問題が生じている。当市としては制度本来の趣旨に基づき、寄附者の増加を図るために、当市が実施する事業を知っていたら、ファンや賛同者を増やすことが重要と考え、寄附金の使い道を明示した事業別メニューを新たに設けて募集を開始している。今後、寄附者の増加に繋がるような魅力ある寄附金活用メニューをお示しできるように努めてまいりたい。

### 情報セキュリティ対策

#### 質問

「新たな自治体情報セキュリティ対策の抜本的強化について」という総務大臣通達に基づく対策と、職員に対する教育や研修は。

#### 答弁

個人情報を取り扱うことの多いネットワークとその他のネットワークの完全分離を行い、また、パスワードとICカードを利用した二要素認証の導入、さらに、メールの無害化対策



藤 英人 (創志会)



ICカードを利用している様子

や仮想化技術を利用して安全にインターネットを閲覧する環境を新たに構築するなど、情報漏洩の防止、外部からのウイルス感染及びサイバー攻撃に対する対策を強化した。職員に対しては、あらゆる機会を通じて情報セキュリティに対しての意識向上や注意喚起を行っている。また、地方公共団体情報システム機構が行っているeラーニングを活用し、受講について広く募集し、情報リテラシーや情報倫理向上を図っている。

### AI活用

#### 質問

自治体におけるAI(人工知能)の導入について当局の見解は。

#### 答弁

技術の発達の機関の実証実験なども参考にしながら、情報収集に努めるとともに、費用対効果を含めて研究・検討が必要と考えている。



渡辺 恒  
(日本共産党議員団)

### 子どもが遊べる公園

#### 質問

宮本町周辺には、子どもが自由に遊べる公園が少ない。桐生が岡公園の西宮神社入口の藤棚周辺を整備し、遊具を設置する考えは。

#### 答弁

西宮神社入口付近から女神像広場と動物園の南門までの間は、桐生が岡公園が開設された大正時代以来、大きな改修や整備を行っていない。また、重伝建地区と連携した利用の必要性も指摘されている。こうしたことから、動物園や遊園地も含めた桐生が岡公園全体として、市街地からの一体的利用についても検討する必要がある。また、子どもが街から気軽に訪れることのできる遊具のあるエリア整備等の必要性も十分認識しているので、今後検討していきたい。

#### 質問

整備する際、地域の要望を聞く考えは。

#### 答弁

今後、部内、庁内で検討する際は地域の声も聞いた上で進めていきたい。

### 今後の国保税率

#### 質問

広域化後の国保税は、上がる傾向か、下がる傾向なのか。

#### 答弁

桐生市の保有する23億円の基金を中長期的に活用し、市民の負担が上がらないようにする中で、市民にご理解いただけるような国保税率を設定していきたい。



桐生が岡公園の藤棚周辺



新井 達夫  
(そうぞう未来)

### 市営住宅の現状と計画

#### 質問

当市における市営住宅の現状と今後の建設計画については、平成29年11月30日現在

#### 答弁

在での市営住宅の現状は、50団地2807戸であり、入居率は約76・6%である。入居条件は「持ち家がなく、住宅に困っている人」、「同居し、又は同居をしようとしている親族がいる人」、「市税に滞納がない人」、「前年の収入が一般世帯で収入月額が15万8000円以下の人」等を条例で定めている。また、今後の建設については、過疎地域への定住促進を目的に、黒保根町



水沼団地

市内の「水沼団地」を(仮称)水沼定住促進住宅」として、現在計画をしている。

#### 質問

当市の過疎地域における定住促進事業の計画及び平成29年度の進捗状況については、

#### 答弁

平成28年度に桐生市住宅マスタープランや関連計画に基づき、人口減少対策のうち、特に喫緊の課題である児童、生徒数の減少対策として水沼定住促進事業の計画プランを作成し、平成29年度より事業に着手している。進捗状況としては、平成29年5月に従前居住者への説明を行い、12月中旬には移転も終わり、平成30年1月から既存の水沼団地の取り壊しを始め、年度内に完了予定である。今後も早期完成を目指していきたい。



北川 久人  
(創志会)

### カリビアンビーチ入館料

#### 質問

小・中学生の入館料と他市の無料利用券の状況について。

#### 答弁

入館料は、平日小・中学生が300円、土日祝日及び7月21日から8月31日までの期間は500円である。他市の無料券については太田市の場合、とうもうサマーランドの閉館に伴い、3歳から中学生までの太田市民の入館料を無



カリビアンビーチ

料とし、太田市が全額負担する利用形態となっている。また大泉町においては、夏休み期間に限り太田市同様の利用形態となっている。

### 桐生の子どもも無料に

#### 質問

太田市の子供たちが無料で使えることを桐生市の子育て中の親が聞いたとき、「太田市民が無料で桐生市民が有料なのはおかしい」と感じる人は多いのではないかと、桐生の子供たちも無料にすべきと考えるが市の見解は。

#### 答弁

市内の子どもとは、閑散期の集客増やレンタル利用、飲食などの売上増が期待できるなどのメリットがある一方で受益者負担の原則や他の市有施設との兼ね合いなど検討すべき事項も多い。今後は、様々な角度からの協議・調整が必要であるので関係部局や指定管理者などと慎重に検討していきたい。



飯島英規 (無党派)

### 中沢秀夫さんのプランニング

#### 質問

まちづくり全体観点から、重伝建地区の整備方法としては、中沢氏が提言する、全額補助上限800万円×100店舗＝8億円の集中投資が必要であると考えますが、市の見解は。

#### 答弁

集中整備を行い、新たな観光スポットを作るのは有益な手法の1つであるが、重伝建地区は歴史的な建築物等を保存していくことが基本となっており、活用を含めた諸々の整備については、地域住民の方々の合意形成を図った上で取り組んでまいりたい。

### グラウンドゴルフ場の常設化

#### 質問

中通り大橋下のさくら遊園グラウンドゴルフ場について、現在、市により



さくら遊園

草刈等も含めよく管理されているが、高齢者の方がグラウンドゴルフを楽しむ、運動することによる理想的な医療費削減の効果を考え、市の管理体制のまま常設のコースを設置できないか。

#### 答弁

さくら遊園をはじめ、河川公園や緑地は、国から占用許可を得て開設しており、多様なスポーツ、イベント等で活用している。各種スポーツ団体等が優先的に利用する場合には、市と協定を結び共同で管理している。まずは相談を受け、他の団体と同様な管理手法を検討したい。



見武 人 (創志会)

### 野外活動センター

#### 質問

観光拠点としての野外活動センターの利用や、野外活動センターを拠点とした観光パンフレットの作成について当局の見解は。

#### 答弁

青少年の心身の健全育成を図ることを目的とした教育施設となっており、現状では野外活動等のプログラムを実施しない宿泊のみの利用は難しいが、市外の利用者が市内の観光施設に気軽に寄っていただけるよう、観光パンフレット等を直接お渡しするなど、集客を図っていききたい。また、家族や少人数でも利用しやすい



野外活動センター

### 医療的ケア児支援

#### 質問

医療的ケア支援事業は未就学の障害児が対象であり、就学時に制度が利用できなくなってしまうが、今後、

#### 答弁

幼稚園・保育園・小学校・中学校の連携をどう図っていくのか。学齢期に達した児童について医療的ケアが必要となるので、教育機関へのスムーズな連携が取れるよう協議するとともに、放課後の障害児通所支援を利用することも考えられることから、本事業の対象範囲の拡大や人材の確保など、関係部局と連携しながら検討したい。



岡部 純朗 (そうぞう未来)

### SNS交流サイト

#### 質問

使用に対しての指導は。

#### 答弁

携帯スマートフォンに関する生徒への指導は、まず、未然防止策として、技術・家庭科では情報モラル教育を、道徳では「生命の尊さ」や「思いやり」、「きまりの持つ意味」等について道徳性を養っている。

#### 質問

またインターネット上のトラブルの被害者にも、加害者にもならないようにするため、市内全小・中学校において児童・生徒・保護者を対象に「情

#### 答弁

市内の小・中学生を集めた「桐生市いじめ防止子ども会議」において桐生市の児童・生徒が考えた「ネットいじめを起さなないためのルールやマナー」を採択し、各学校で配付している。



セーフネット標語

「桐生市青少年ネット見守り活動委員会」の協力のもと、ネットパトロールを実施している。携帯スマートフォン望ましい使用の方法については、群馬県・群馬県警察から出されたセーフネット標語「おぜのかみさま」等を活用し、生徒へ指導している。

#### 質問

高崎市では中学生が守るべき決まりを「高崎ルール」として普及啓発に努めるとのことだが、当市の取り組みは。

#### 答弁

市内の小・中学生を集めた「桐生市いじめ防止子ども会議」において桐生市の児童・生徒が考えた「ネットいじめを起さなないためのルールやマナー」を採択し、各学校で配付している。



周 東 照 二  
(公明クラブ)

## 水道事業

### 質問

当市の水道事業における有収率は平成28年度の決算では79.9%だが、有収率という指標はどのようなものか、また全国的にみてどのような位置にあるか。

### 答弁

有収率とは、浄水場などから供給した総配水量のうち、水道料金の徴収対象となる有収水量の割合を示す数値であり、数値が高いほど施設の稼働状況が収益に反映されていることとなる。また、水道統計の平成27年度版によると、全国平均値は90.0%、また類似団体の平均値は89.3%であり、これらの数値から比較すると当市は低い状況となっている。

### 質問

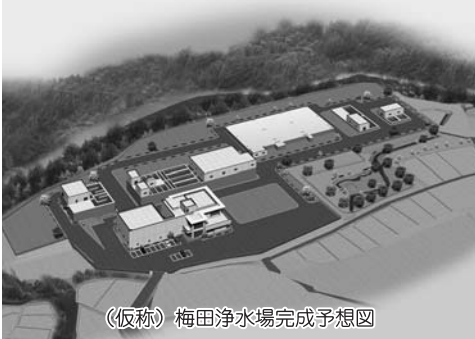
有収率向上に向け、どのような取り組みをしているか。また目標を明確に掲げてそこに進んでいくことが大事だと思いが見解は。

### 答弁

正確な配水量を把握するため配水メーターの点検や不具合メーターの速やかな交換、災害に強く配水ロスの少ない耐震管等での管路更新を実施し、また漏水防止対策として、常時監視型の探知機100基を設置し、従来の路面音聴と合わせ漏水箇所を早期発見と対応に努めている。また、類似団体の平均が89.3%であるので、89%程度を目標として地道に着実に向上していきたい。

### ○その他の質問項目

#### ◆環境先進都市の実現



(仮称) 梅田浄水場完成予想図



久保田 裕 一  
(そうぞう未来)

## 山上多重塔(塔婆)

### 質問

ユネスコ「世界の記憶」に認定された上野三碑と連携し、山上多重塔を上野第4の碑として情報発信していくべきと考えるが、市の見解は。

### 答弁

山上多重塔は、群馬県のホームページで紹介される。紹介されることにも群馬県立歴史博物館の常設展示においても4基の古碑のレプリカが同じフロアに展示されている。これらの状況を踏まえ、今後は県や上野三碑が所在している高崎市と連携し、郷土が誇る大切な古碑の魅力と価値について情報発信していきたい。

## 地域の自治機能強化

### 質問

地域ごとの特色を生かすための仕組みである地域自治区の市内全域への導入を見据えて、新里地区・黒保根地区を先行事例と位置付けた地域自治区の導入を提案するが、市の見解は。

### 答弁

地域自治区の制度は、細やかな行政サービスを提供することが可能となる一方で、市の一体性を阻害する、自治区ごとに事務所を設置し、職員を配置する必要がある。どのデメリットも想定されることから現時点で導入については考えていない。



山上多重塔

### ○その他の質問項目

- ◆認定子ども園における子育て支援事業
- ◆地方版図柄入りナンバープレート導入



関 口 直 久  
(日本共産党議員団)

## 長尾根峠

### 質問

長尾根峠道路改良工事について、現在の進捗状況と完成の見通しは。

### 答弁

現在の工事の進捗状況は、施工延長510mの区間で簡易吹付け法砕工、路盤工、排水構造物工等を施工しており、12月末には進捗率約90%に達する見込みである。当初は来年度施工予定であった工事部分



長尾根峠

についても交付金の追加配分がある見込みとなったため、平成30年3月末には完成させ、全線供用開始をしたい。

## 商店街リフォームの支援

### 質問

意欲ある既存店舗のリフォーム等を助成・支援する制度は作れないか。

### 答弁

既存の店舗に対する改修補助等については、費用対効果や公平性の問題など検討すべき点が多く、現在重点的に推進している新店舗開設に対する補助制度に比べ、より多くの財源も必要であり、成果・効果の捉え方も難しい。既存店舗に対する効果的な支援のあり方について、他市等を参考に今後も検討してまいりたい。

### ○その他の質問項目

- ◆通学路の安全対策について
- ◆介護保険について
- ◆桐生厚生総合病院給食業務委託について



正男 司 (そうぞう未来)

## 旧中島邸の活用

### 質問

パチンコ機メーカー「平和」の創業者である、故・中島健吉氏が生前暮らしした旧中島邸が桐生市に贈られたが、あまり活用されてないと感じる。今後の活用をどのように考えているのか。

### 答弁

寄附受け入れ後、庁内関係部局と利用方法について協議を重ねてきたが、施設規模が大きいこと、家具や調度品が備わっていないことなどから有効な活用方法が見出せていない。今後、市有地などの活用方法について民間業者から広く意見、提案を求め、「対話」を通じて市場性等を把握できるサウンディング型市場調査を実施するなど、当市の貴重な財産の有効活用に積極的に取り組んでまいりたい。



旧中島邸

## 3010運動

### 質問

「残さず食べよう3010運動」について当市の見解は。

### 答弁

食品ロス削減に10運動は、ごみ発生抑制という観点から有効な取り組みであると考えている。この取り組みは、広報きりゆうを通じて市民にお知らせしているが、今後、桐生市ごみ減量化推進協議会を中心として商工会議所をはじめとした各団体とともに、食品ロスの削減に資する取り組みを推進したい。

# 主な議案

○桐生市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例案

#### 概要

道路法施行令の一部改正により、平成27年度に行われた固定資産税評価額の評価替え及び地価に対する賃料の水準の変動等を踏まえた占用料の単価の見直しを行うとともに、占用数量の端数処理の方法を改めるもの。

▽施行期日

平成30年4月1日

○指定管理者の指定について（桐生市黒保根高齢者生活支援施設）

#### 概要

桐生市黒保根高齢者生



つづじの家

活支援施設の設置及び管理に関する条例第13条の規定に基づき、桐生市黒保根高齢者生活支援施設の管理を行わせるため、社会福祉法人泰和会を指定管理者として指定しようとするもの。

○あっせんの申立てについて

#### 概要

東京電力株式会社福島第一原子力発電所の事故に起因して桐生市が実施した放射線対策に要した費用のうち、東京電力ホールディングス株式会社が応じていない損害賠償について、原子力損害賠償紛争解決センターにあ



放射線量測定の様子

っせんを申し立てるに当たり、地方自治法第96条第1項第12号の規定により、議会の議決を求めようとするもの。

○一般職の職員の給与に関する条例及び桐生市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例案

#### 概要

国に準じて給与改定を行うため、所要の改正を行うもの。

1 給料月額額の改定

「平成29年4月1日から適用」

給料表の給料月額を平均0・2%引き上げる。

2 勤勉手当支給月額額の改定「平成29年12月1日から適用」

勤勉手当の支給月数を0・1月引き上げる。

▽施行期日 公布の日

○特別職の職員で常勤のものとの給与に関する条例の一部を改正する条例案

#### 概要

一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正に準じ、特別職の常勤職員の期末手当の支給月数について所要の改正を行

うもの。

◎ 市長、副市長及び教育長の期末手当の支給月数を0・1月引き上げる。

▽施行期日 公布の日

○議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例案

#### 概要

一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正に準じ、議会の議員の期末手当の支給月数について所要の改正を行うもの。

◎ 議会の議員の期末手当の支給月数を0・1月引き上げる。

▽施行期日 公布の日

○桐生市職員退職手当支給条例等の一部を改正する条例案

#### 概要

国に準じて退職手当の支給水準を引き下げると、所要の改正を行うもの。

◎ 官民均衡を図るために設けられている調整率を、100分の87から100分の83・7に引き下げる。

▽施行期日

平成30年1月1日